



議会だより

たむら



2010
第22号

平成22年8月1日発行



▲都路灯まつり

8月7日（土）午前11時より
グリーンパーク都路で「都路灯まつり」
が開催されます。
竹灯に浮かび上がる幻想空間をお楽し
みください。

もくじ ~今回の内容~

6月定例会等	2~4ページ
9月定例会日程（案）	5ページ
代表質問等	6~8ページ
一般質問等	9~13ページ
各委員会活動報告	14~15ページ

6月定例会



平成22年度6月定例会が6月10日から24日までの15日間にわたって開かれました。富塚市長より条例の一部改正、平成22年度各会計補正予算などの議案が提出され、すべて原案のとおり可決しました。また、議員発議による意見書提出議案を原案のとおり可決しました。

平成22年度補正予算

平成22年度田村市一般会計、各特別会計および水道事業会計の補正予算が提出され、原案とおり可決しました。
(詳細は左表のとおりです。)

■一般会計補正予算

補正額 (補正後予算総額)	補正の主な理由
5,841万4千円増 (202億3,841万4千円)	歳入…国庫支出金、県支出金等 歳出…総務費、労働費、土木費、 教育費等の増額

農業委員の推薦

農業委員の候補者の推薦について、次の方を推薦しました。
白石 治 平 (常葉)

教育委員の同意

田村市教育委員会の委員について、次の方の任命に同意しました。
佐藤 善嗣 (大越)

■特別会計及び水道会計補正予算

会計名称	補正額(補正後予算総額)
特別会計 国民健康保険	2億5,959万3千円減 (51億4,640万7千円)
介護保険	1,517万5千円増 (32億3,257万5千円)
滝根町観光事業	10万円増 (6億3,340万円)
公共下水道事業	600万円増 (12億120万円)
診療所事業	(総額の変更なし)
水道事業会計	1,959万4千円増 (11億5,897万4千円)

田村市議会広報広聴調査 特別委員会の設置

議会において、議会広報とは、議会が市民に対し、議会活動について理解と認識を得るためのもので、各種の広報手段が想定されます。また、「議会だより」については、市民が読みやすく充実した広報紙とする必要があります。今後の議会広報のあり方について調査していきます。

行政では、情報公開、住民参加、移動市長室など、積極的に市民の意見を聞く施策を展開しており、議会としても、政策決定に当たり市民の意思と乖離しない議会とする必要があることから、今後の議会広聴の方向性について調査を実施するため、田村市議会広報広聴調査特別委員会を設置しました。

委員長
副委員長
委員

樽井義忠
菊地武司
大橋幹一
白石恒次
木村高雄
橋本紀一

定例会で審議された主な議案

●議員発議

- ・田村市議会広報広聴調査特別委員会設置に関する決議について
(提出者 長谷川元行議員)
- ・保育制度改革に関する意見書の提出について
(提出者 石井忠治議員)

◆補正予算

- ・平成22年度田村市一般会計補正予算(第1号)、特別会計補正予算(第1号)及び水道事業会計補正予算(第1号)

◆条例の廃止

- ・いきいきデイサービス事業手数料条例

◆条例の一部改正

- ・職員の勤務時間、休暇等に関する条例、職員の育児休業等に関する条例、職員の給与に関する条例、市立学校設置条例、水防協議会条例、国民健康保険税条例、(以上略称で記載)

◆その他の議案

- ・船引・都路地区光ケーブル設置工事請負契約、緑小学校屋内運動場改築建築主体工事請負契約について
- ・財産の取得について
- ・和解及び損害賠償の額を定めることについて
- ・農業委員会の委員の推薦について
- ・田村市教育委員会の委員の任命について

すべて、原案のとおり可決

市立学校設置条例の一部を改正

平成23年4月1日から牧野小学校を上大越小学校へ統合することに伴う改正です。

国民健康保険税条例の一部の改正

平成22年4月の地方税法の改正に伴い、国民健康保険税の算定に係る医療分基礎課税限度額を「47万円」から「50万円」に、後期高齢者支援金等課税限度額を「12万円」から「13万円」に改めるものです。

また、厳しい経済情勢が続く中、非自発的失業者に係る国民健康保険税の軽減措置を講ずる課税の特例が創設されたことに伴い、非自発的失業者(倒産・解雇・雇止めなどによる離職者)の国民健康保険税の算定に当たっては、前年の所得金額の100分の30に相当する金額により国民健康保険税を算定し、負担の軽減を図るものです。

工事契約を議決

随意契約を行った工事請負について、議会の議決に付すべき契約(予定価格1億5千万円以上)の議案が提出され、原案のとおり可決しました。

▼船引・都路地区光ケーブル設置工事

契約方法
随意契約
契約金額
4億740万円
契約業者
東日本電信電話株式会社
福島支店長 三和 千之

※随意契約とは：
契約の性質または目的が競争を許さない場合、緊急の必要により競争に付することができない場合および競争に付することが不利と認められる場合に行い、入札なしで契約を結ぶことです。

工事契約を議決

5月28日に入札を行った工事請負について、議会の議決に付すべき契約(予定価格1億5千万円以上)の議案が提出され、原案のとおり可決しました。

▼市立緑小学校屋内運動場改築建築主体工事

契約方法
条件付き一般競争入札
契約金額
1億5,067万5千円
契約業者
株式会社 鈴船建設
代表取締役 鈴木 直綱

財産の取得を議決

5月28日に入札を行った財産の取得について、議会の議決に付すべき契約(予定価格2千万円以上)の議案が提出され、原案のとおり可決しました。

▼市総合体育館バスケットゴール、多目的競技表示盤等の取得

取得する動産
バスケット台オレンジゴール 2対
セッティングゲージ 2対
多目的競技表示盤 2組
オルタネイティングポゼション表示器 2組
フール回数表示器 2組
大響ブザー 2組
選手表替表示板 2組

取得方法
指名競争入札
契約金額
4,084万5千円
契約業者
有限会社スポーツショップ
ワタナベ
代表取締役 渡 邊 弘

※バスケット台オレンジゴール等の価格は、P15の委員会審査報告を参考にしてください。

請願・陳情

6月定例会において、請願2件、陳情5件が審議され、4件を採択しました。また、その陳情にもとづく意見書を議決し政府関係機関へ提出しました。

請願

○緑幼稚園2年保育について 【採 択】

請願者 移地区代表区長
北移区長 渡邊孝行 ほか6名
紹介議員 宗像公一・菊地武司

○山根小学校の常葉小学校への統合にかかわる、児童送迎バスに、山根方部の中学生の同乗を求める請願 【継続審査】

請願者 常葉町山根行政区
区長 國分幸夫 ほか1名
紹介議員 石井忠治

陳情

○生活費に見合う年金引き上げを政府に求める陳情書 【不採択】

陳情者 全日本年金者組合田村支部
支部長 佐藤一正

○後期高齢者医療制度の即時廃止を政府に求める陳情書 【不採択】

陳情者 全日本年金者組合田村支部
支部長 佐藤一正

○船引南幼稚園2年保育の早期実現に関する陳情書 【採 択】

陳情者 七郷地区代表区長
下郷区長 佐藤初男 ほか8名

○美山地区から船引中学校までの送迎用車両運行に関する陳情書 【採択】

陳情者 長外路区長 鎌田光邦 ほか2名

○保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情書 【採択】

陳情者 福島県保育連絡会
世話人代表者 大宮勇雄



橋本賢前議員

田村市議会議員 4年在職
旧船引町議会議員 13年在職



松本熊吉議員

田村市議会議員 4年在職
旧都路町議会議員 13年在職

5月26日（水）に行われた第86回全国市議会議長会定期総会において、松本熊吉議員および橋本賢前議員が表彰されました。この表彰は、町村合併により市制を施行した町村議会議員としての在職期間の2分の1と、合併後の市議会議員としての在職期間を通算し、10年以上議会議員の職にあった者に贈られるものです。

全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会とは…

地方自治法に定める地方公共団体の議会の議長が、その相互間の連絡、共通する問題協議及び処理のために設けた「全国的連合組織」であり、総務大臣への届出団体です。

昭和7年5月21日に設立され、全国809市・区（786市、23区）の議会の議長をもって組織しています。

委員会構成の一部変更

6月24日に、橋本文雄産業建設常任委員長、産建常任委員長に白石治平議員が選任されました。また、橋本文雄議員の議会運営委員の辞任に伴い、議会運営委員に、白石治平議員が選任されました。

代表質問

次ページからは、6月定例会において行われた代表質問を掲載します。
4会派5人の議員より、市政に対する質問が行われました。

9月定例会が開催されます

9月定例会は下記の日程で開催される予定です。議会は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。

なお、正式には定例会初日に決定されるため、変更になることもあります。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

田村市議会事務局

TEL 77-2261

FAX 77-2393



6月定例会の会期中、延37人の方が傍聴されました。

9月定例会の開催日程（予定）

9月1日（水）	本会議	初日（招集日） ・会期の決定 ・提案理由の説明 等	議場
9月2日（木）	休会	（議案調査）	
9月3日（金）	休会	（議案調査）	
9月4日（土）	休会		
9月5日（日）	休会		
9月6日（月）	本会議	代表質問	議場
9月7日（火）	本会議	一般質問	議場
9月8日（水）	本会議	一般質問	議場
9月9日（木）	本会議	総括質疑 議案の常任委員会付託	議場
	委員会	各常任委員会審査	各委員会室
9月10日（金）	委員会	予算常任委員会審査	各委員会室
9月11日（土）	休会		
9月12日（日）	休会		
9月13日（月）	委員会	決算特別委員会審査	各委員会室
9月14日（火）	委員会	決算特別委員会審査	各委員会室
9月15日（水）	委員会	決算特別委員会審査	各委員会室
9月16日（木）	委員会	委員会予備日	
9月17日（金）	休会	事務整理	
9月18日（土）	休会		
9月19日（日）	休会		
9月20日（月）	休会	敬老の日	
9月21日（火）	本会議	最終日 ・各常任委員会審査結果報告 ・議案等の質疑、討論、採決	議場

市民netたむら 本田仁一議員

行財政の健全化について

質問

- ① 行政改革の成果は。
- ② 財政力を増やす政策は。
- ③ 経常収支比率の改善策は。
- ④ 現在の財政状況を簡潔に説明すると、どうなるのか。

回答

- ① 職員定数の削減、簡易水道事業の上水道への統合と企業会計への移行など、効率化が図られました。
- ② 税収の安定的な確保に向け、デンソー東日本の操業に伴う関連企業の誘致や、廃校の民間活用などに努めます。
- ③ 類似施設の統廃合、手数料や施設使用料を含め検討します。
- ④ 自主財源の割合は少ないものの地方債の返済額は比較的安定し、将来に過度の負担を残すことなく健全財政を維持しています。

保健福祉政策について

質問

- ① 介護予防事業について。
- ② 低料金の介護施設が必要との要望が多いが。
- ③ 養護学校設置について、県、

市の考えは。

回答

- ① 介護予防生活支援補助員により介護予防の運動普及と、意識の向上に努めます。
- ② 施設の種類や介護度により異なるが、所得に応じた負担軽減の制度を設けています。
- ③ 県学校教育審議会は、昨年9月に「児童生徒数が増加し教育環境の改善が必要となっていることや通学状況などから分校等の設置を含めて特別支援学校のあり方について検討の必要がある」との考えを示しました。市として今後も県に要望します。

教育政策について

質問

- ① 体力低下の原因と向上策は。
- ② 学校の適正規模とは、また現在の状況は、

回答（教育長）

- ① 通学時のバス利用や保護者の送迎も原因の一つと考えられます。各学校において実態に応じた改善策を図っていきます。
- ② 本市は、複式学級が生じない学校と考えています。滝根・大越地区では、1小学校とする「考える会」が発足しています。

市民netたむら 箭内仁一議員

風力発電施設完成後の効果について

質問

市内に建設中の2箇所の風力発電所の地域資源としての活用および健康被害等についての検証は。

回答

市内に建設中の滝根町金山地区ならびに常葉町松山地区はいずれも阿武隈高原の豊かな自然に恵まれ、あぶくま洞をはじめとする本市観光エリアの中にある、新たな観光拠点として、また、環境にも優しく自然を大切にす新エネルギーの持つ教育的効果等も含め、広域観光ネットワークの推進と共に関係機関と連携を図りながら、効果的な活用を検討していきます。

また、市民の不安解消へ向けての取り組みについては、風力発電施設の本格稼動により市民から苦情等が寄せられた場合には、誠意ある対応を事業者へ強く要望するなど、不安解消に向け対応していきます。

地上デジタル化への対策は

質問

23年7月24日より完全地デジ化が実施されるが、市内の難視地域、難視世帯解消に向けた取り組みは。

回答

市内の辺地共聴施設および都市難視共聴施設については、22年12月までに地上デジタル化への改修は終了する見込みであるが、地デジ化による新たな難視世帯が約300世帯程度推計されることから、共同アンテナ組合の設立等を含め国およびNHKの補助事業等の導入により、その解消に努めていきます。



滝根町金山地区の風力発電

安全・安心で良質な水の安定供給は

質問

①各行政局ごとの水道普及率は、
②字太子堂付近の配管増設すべきでは、
③給水区域外の共同水道水源の水質検査費用の助成は、
④石綿セメント管の更新状況と今後の見通しは。

回答

①滝根83.5%、大越71.8%、都路21.2%、常葉52.3%、船引43%です。
②将来生活様式の多様化や住宅戸数の増加などその段階で必要性を含め検討します。
③今後実態調査の実施と水質検査に対する助成の可能性を検討します。
④国庫補助事業、道路改良事業等に合わせて今後も年次計画で老朽管更新を行い有収率の向上に努めます。

クリーンエネルギー、太陽光発電設備の普及は

質問

太陽光発電普及は。

回答

市では、平成20年に策定した

本庁舎建設について

質問

今年度開催される議会において、上程する考えは。

回答

現時点では、その時期に至っていないが、これまでの真摯な議論を尊重しつつも改めて議会の意見をいただきながら、あるいは協議しながら本年度中の早い機会に、市役所の位置を定める条例の改正案を提案したい。

下水道事業について

質問

加入促進のための方策は。

回答

下水道事業は面的整備が目的ではなく、受益者が加入して初めて目的が達成されることから、未加入世帯に対し個別訪問による状況把握と接続促進に努めています。また、「下水道まつり」や行政局ごとの文化祭において普及啓発を図っており、引き続き個別訪問を中心とした加入促進に努める考えです。

旧ゴミ焼却場の解体について

質問

安全、衛生上において、問題が発生する前に、解体する考えは。

回答

市内には、大越町2施設、他の町に各1施設、計6施設ありますが、一部を分別作業場として利用している船引清掃センター以外は、すべて閉鎖しています。解体については、市一般廃棄物処理基本計画に基づき、解体することとしています。施設の特殊性からダイオキシン類のばく露防止調査や施工管理にかかる経費等を含め概算工費は、6施設で約5億5千万円と見込まれます。市の財政計画との整合性を図りながら、危険度の高い施設から解体に向けて検討していく考えです。

効率的な行政運営と職員資質の向上を望む

質問

効率的な行政運営と職員資質の向上を望む。

回答

政策企画立案、実施、評価、反映による庁内システムを導入すべく事務事業評価を試行的に実施した経緯はありましたが、継続的な運用には至らなかった。今後研究を重ね、新たな行政改革大綱の中で位置づけをしていきます。

職員資質の向上については、多様化高度化する住民ニーズへの確に対応できるよう各種研修を積極的に実施しています。

市の長期的な財政運営 見通しは

質問

①大滝根川流域下水道移管に伴う財政負担の対応は。
②合併特例債事業達成の見通しは。

回答

①流域下水道の移管による市の財政負担は、約36億5,750万円で維持管理費立替分、2億5,000万円余りの償還が加わり、市の財政を過重に圧迫することは必至でありませぬ。大滝根川流域下水道は三春ダムの水質浄化が第一目的であることの事業背景、市町村合併といういずれも国策に沿った取り組みにより被る不合理性を強く訴え、国や県の支援を強く求めていく考えです。
②合併特例債は、新市建設計画に基づいて行う一定の公共施設

整備事業や地域住民の連帯の強化のほか、地域振興に資するための基金積み立てに充てること

が認められています。平成22年度当初予算編成時の合併特例債を活用した事業は109事業、235億1,582万円、起債額は153億9,650万円で、起債限度額の197億1,250万円の78.11%となっておりませぬ。合併特例債に係る計画の進捗状況は平成21年度までの累計で、事業費11億7,576万円、うち起債額は67億7,190万円で、全体計画における進捗率は、事業費ベースで47.52%、起債ベースで43.98%になっておりませぬ。

その他に

- ・産業の振興について
 - ①畜産振興と口蹄疫対策について
 - ②不順天候により予測される異常気象対策は
 - ・田村市の急激な人口減少をどう考えているか
- を質問しました。

一般質問

次ページからは、6月定例会において行われた一般質問を掲載します。8人の議員より市政に対する質問が行われました。

お知らせ

請願・陳情について

請願とは、憲法第16条に規定された国民の権利として、公の機関に対して要望を述べる行為で、必ず紹介議員を要しますが誰でも提出することができます。

陳情とは、事実上の行為として議員の紹介なしで提出するものです。

○請願（陳情）書の書き方と提出方法
定例会前の議会運営委員会開催日（概ね開会日の3日前）の前日午後5時までに議会事務局へ直接提出してください。
※意見書提出を求める場合は、意見書の案文を添付願います。

請願（陳情）書

年 月 日

田村市議会議長

〇〇〇〇 様

請願者 住所 〇〇〇〇〇〇〇〇
氏名 〇〇〇〇〇印

紹介議員 〇〇〇〇〇（署名又は押印）
※陳情の場合は不要

（件名） 〇〇〇〇について

請願要旨 〇〇〇・・・・
請願事項 〇〇〇・・・・

「小沢の桜」の駐車場の整備について

質問

「小沢の桜」入口の中央部を埋め立て、遊歩道を含めた一体的な駐車場の整備が必要と考えるがどうか。

回答

訪れた観光客に、駐車場が少ない不便や危険性を感じさせないように、国道管理者の福島県と協議しながら駐車場整備の可能性を検討していきます。

市営パークゴルフ場設置について

質問

年々増加傾向にある高齢者および市民の方々の体力維持と健康増進のために、市営パークゴルフ場を設置してはどうか。

回答

パークゴルフの市内の普及の様子や今後の動向を見ながら、施設の設置を検討していきます。

市道（田和上線、陣場線）について

質問

市道（田和上線、陣場線）改良の進捗状況と今後の見通しは。

回答

田和上線は、改良・舗装済み延長が約170mで全体の約17%が完成しております。今後の見通しは、用地買収等を進め、仮設の橋梁が必要な宮川橋は工事が長期にわたるため、平成26年度完成を目途に取り組んでいきます。

陣場線は、改良・舗装済み延長が約200mで全体の約26%が完成しております。残りの用地買収等を進め、大滝根川に架かる新設橋梁についても、河川管理者との協議を速やかに進めます。



「小沢の桜」駐車場付近

市内スマートインターチェンジ設置について

質問

地域経済に大きい役割を担うスマートインターチェンジの進捗状況は。

回答

スマートインターチェンジは市民の利便性のもとより、救急医療施設への時間短縮や市内観光への誘客交流人口の増、企業誘致など市全体の発展に寄与するものと考えています。

新制度に沿ったスマートインターチェンジの実現可能性を探るための調査を行います。

事業仕分けによる農道整備交付金の廃止について

質問

国では、農山漁村地域整備交付金で対応の方針ですが、広域農道の進捗状況と本年度の予算措置は。

回答

移南地区は進捗率74.2%となっており、2億3,366万8千円の計画事業費で平成23年度には、事業完了の予定です。田村3期は、1億4,700万円の事業計画で平成27年度完

了予定となっております。引き続き農作物や農業生産資材等輸送の合理化と地域の活性化を図っていきます。

観光資源としての堂山王子神社、安倍文殊堂の看板設置や駐車場の取り組みは

質問

観光資源としての堂山王子神社、安倍文殊堂の看板設置や駐車場の取り組みは。

回答

堂山王子神社は国指定重要文化財で、室町時代に建立された荘厳な建造物であります。

また、安倍文殊堂は日本5大文殊に数えられる貴重な文化財です。

あぶくま洞を中心とした観光施設と結ぶモデルコースとして数年前から広域的にPRしてきました。重要な文化財であると同時に地元の皆様が長い間守り続けてきた歴史がありますので関係者と協議しながら検討する必要があります。

樽井 義忠 議員

市民参加の安全・安心のまちづくりについて

質問

①JR船引駅周辺整備事業の検証と通勤通学時間帯の渋滞の改善策は。
②今後のまちづくり事業は。

回答

①船引駅周辺はまちづくり交付金事業により広場や公園、駐車場が整備され事業の目的は達成されていると認識しています。通学時の送迎車が駅舎入口付近に集中し混雑を招き駅前広場への進入がスムーズに流れない時も見受けられます。誘導標識の設置や駐車場の有料化等も検討しスムーズな車の流れを確保するよう努めます。
②JR移街道踏切拡幅と市道畑添源次郎線の道路整備は早期の整備を図るべく、道路整備事業として計画し、本年度は市道改良の測量設計を行います。

障害のある人もない人も安心して暮らせる郷づくりについて

質問

①県立養護学校を本市へ誘致する見通しは。

②障害者多機能型事業所「田村」の事業と相談支援事業の具体的内容は。
③重度の障害者在宅介護家族の相談支援の現況は。

回答

①特別支援学校の市内誘致は重要不可欠と考えており今後も県知事および県教育委員会に強く要望してまいります。
②社会福祉法人福島県福祉事業協会が障害者の方に生産活動の機会を提供し就労に必要な知識や能力向上訓練を行う、就労継続支援B型事業定員が20名、常時介護を必要とする人への日常生活支援、身体機能生活能力向上支援を行う、生活介護事業定員が10名。相談支援事業は、障害者本人や保護者の選択に基づき適切な保健、医療、福祉、就労支援、教育などのサービスが、総合かつ効率的に提供されるよう各種の相談支援が行われます。
③介護福祉課、各行政局市民課が窓口となり自宅を訪問、心配ごとや困りごとの相談を行っています。

木村 高雄 議員

議会日程を広報無線で

質問

市民から、「いつ議会が開かれ、いつ終わったのか、内容も分からない。広報無線などで、議会の日程を知らせて欲しい」との声が寄せられます。全市に議会の日程を、市民に知らせるべきではないか。

回答

議会から要請があれば、防災無線で議会の日程をお知らせします。

国保一部負担金（医療費3割負担）減免の活用について

質問

厚労省の通知で、医療機関の窓口未収金問題の未然防止、生活困窮者に対する一部負担金の減免など、窓口負担の軽減の活用を訴えています。本市でも実施するべきではないか。

回答

モデル事業の検証結果を踏まえ本市としては、その運用基準を受け未収金の防止と、窓口負担の軽減策を検討していきます。

口蹄疫の対応について

質問

本市は県内でも繁殖農家など一番畜産が盛んなところですが、行政として今後、口蹄疫予防対策はどのように行うのか。

回答

口蹄疫は、畜産業への甚大な被害はもとより、地域経済に及ぼす影響が大きく、予防対策として市内すべての畜産農家に消石灰を配布しました。今後は県中家畜保健衛生所・JAたむら家畜センターおよび各酪農業協同組合などと連携を密にし、踏込消毒槽の設置や畜舎内外への消石灰散布について指導を徹底していきます。

その他に
・流域下水道事業の移行と公共下水道事業の進捗状況について
・助け合い資金（仮称）の創設について
を質問しました。

市庁舎について

質問

- ①特別委員会が報告した「長作」を尊重すべきでは。
- ②旧町村および船引町地区代表区長等の話し合いは、また、意見を取り入れるべきでは。
- ③本庁舎と船引行政局合築は船引町のために良かったと考えられるか。
- ④町グラウンド、J.T跡地、船引縫製跡地からの提案は、また、時期は。

回答

- ①真摯に受け止めつつ熟慮を重ねながら進めたいと考えています。
- ②代表区長等の話し合いを持った経緯はありません。今後、予定地が確定された場合には、必要に応じて広く市民の皆さんのご意見を伺いながら庁舎建設を進めてまいりたいと思っています。
- ③市民から特段の苦情等は今のところありません。職員からの改善要望等もありませんので、本庁と船引行政局を一体として整備する手法は好ましい形であると考えています。
- ④議会の意見を尊重しつつ広く市民の意見もお聞きしながら検討してまいります。議会提案の時期は明確にお示しできる段階ではありません。

再質問

今泉、板橋からの陳情がでてくるが。

回答

今泉地区、さらには板橋地区から庁舎建設の候補地の陳情もありましたが、提案する考えはありません。

その他に

- ・薬剤配布について（シャットアウト、消石灰など）
 - ①安全指導の実態、受取人の確認方法
 - ②配布窓口および未使用薬剤への対応は
 - ・産廃不法投棄について
 - ①市の実態および防止策は
 - ②入山禁止で取り組む考えは
 - ・耕作放棄地解消について
 - ①市の実態は
 - ②山林への復元が望ましいと思うが
- を質問しました。

ごみ焼却場について

質問

- ①旧町村に6箇所ある旧ゴミ焼却場の解体計画は。
- ②合併特例債事業で解体できないか。

回答

- ①ごみ焼却場の解体計画については、市一般廃棄物処理基本計画に基づき焼却施設を解体することとしております。6施設で約5億5千万円の経費がかかることから危険度の高い施設より検討します。
- ②合併特例債を活用する場合は、施設の解体後、跡地利用を行う必要があります。現時点での跡地利用計画はありません。

風力発電と観光について

質問

- ①風力発電の観光地のための道路の整備、駐車場、トイレの設置計画は。
- ②風力発電の観光について、いわき市と協議する考えは。
- ③金山つつじ、ブナ林、石ぼつけなどを結ぶ遊歩道を整備する考えは。

回答

- ①風力発電事業者が搬入路とし



ブナ林の遊歩道

- ②整備した市道が工事終了後に、市へ引き渡されます。未舗装ですが、そのまま活用できます。舗装工事は今後検討します。
 - ③金山つつじ、ブナ林、石ぼつけを結ぶ遊歩道は、新たな観光スポットになるものと考えられることから関係者と協議しながら検討します。
- 良好な協力関係を維持しながら、風力発電を活かした観光事業化についても検討を進めます。

先崎 温容 議員

予算効率化は

質問

「地産地消」、「地元業者育成」、「地場産業振興」などの観点、また有事の際（災害復旧・除雪作業など）における事業所等との連携強化による安全と安心のまちづくり確保のため、「真の意味での予算の効率化を図る」ため、『予算執行による経済効果の試算』を示していくべきと考えるが。

回答

地元での資金循環により、雇用の確保、地域経済の活性化、ひいては市への税収反映も期待できますが、予算はソフト・ハード面と多分野に及ぶため、今のところ『予算執行における経済効果の試算』の明確化は困難ですが、今後は可能な分野から取り組むこととし、より効率的な予算執行に努めます。

白石 恒次 議員

教育現場の職場環境充実は

質問

教育現場の実情を正確に把握していくことが「学校・家庭・地域」の相互理解につながり、ひいては子ども達のための教育向上となる。教育現場の事務負担等の増加が、子ども達への教育環境の悪化にもつながりかねない。教育現場の実情に対する理解を得ること、また負担軽減のための対策は。

回答（教育長）

園や学校では、学校日より等を定期的に発行し、家庭や地域に子どもたちの活動の様子を知らせ、学校教育に対する理解と信頼の確保に努めています。さらに今年度は、全小中学校においてホームページ開設を目指しています。教員が子どもと向き合える時間を確保できるように、今後とも事務負担軽減に取り組んでいきます。また、外部人材等の積極的な活用など学校のニーズに応じた支援体制に努めます。

中心商店街に対する取り組みについて

質問

郊外型大型店の進出による各地区の中心商店街の衰退に対する取り組みは。

回答

大型店の進出は雇用の創出や消費者の利便性の向上をもたらす反面、地元商店街の衰退を招いており、各地区の市街地の空洞化と都市活力の低下を懸念しております。市では昨年「田村市商業まちづくり基本構想」を策定し、市民や商工団体、商業者との話し合いで地域密着型のまちづくりを推進することとしております。

若者の定住化への取り組みについて

質問

若者の定住化・若年層の雇用の場確保への取り組みは。

回答

市の発展には、若者の定住化が不可欠であることから企業誘致と市内立地企業の振興を図り雇用の拡大を推進していきます。

高齢化への取り組みについて

質問

①高齢者の健康促進のための対策は。
②高齢者の健康促進のための施設計画は。

回答

①平成22年度から平成26年度までを期間とする「田村市健康増進計画」により健康づくりを推進していきます。
②施設については、既存施設の利活用による介護予防教室など、ソフト事業の充実を図る考えであり、新たな施設整備計画は考えておりません。

緑小学校校屋内運動場 改築建築主体工事請 負契約について

質問

- ①入札参加業者名および参加資格を持つ業者数は。
- ②下請業者は。
- ③入札者全員の入札価格および落札率は。

回答（教育部長）

- ①㈱鈴船建設、三和工業㈱、桜田工業㈱、富士工業㈱の4社で、有資格業者は17社です。
- ②現時点では把握しておりません。
- ③鈴船建設㈱は、1億4,350万円、三和工業㈱は、1億4,535万円、桜田工業㈱は、1億4,600万円、富士工業㈱は、1億4,765万円、落札率は、93.79%です。

財産の取得について

質問

- ①入札参加業者名および参加資格を持つ業者名すべて示せ。
- ②入札者全員の入札価格および

- 落札率は。
- ③この設備の利用頻度で月当たりの見込みは。

回答

- ①(有)スポーツショップワタナベおよび愛信堂㈱の2社で入札を行いました。参加資格は、他に(有)ホンダ、(有)志正堂、(有)サトウ事務機器、えんどうを加えた6社です。
- ②(有)スポーツショップワタナベは、3,890万円、愛信堂㈱は、4,200万円、落札率90.47%です。
- ③月平均4日程度を見込んでいます。

和解及び損害賠償の額を定めることについて

質問

保険による対応の有無は。

回答

議決後、全国市有物件災害共済会から支払うこととなります。

議会の情報はホームページから

田村市議会のホームページでは、議会に関する各種情報を公開しています。

定例会等の開催日程や会議録など最新の情報をご欄になることができます。



☆ホームページアドレス☆

http://www.city.tamura.lg.jp/ta_gikaijimu/ta_gikai_top.jsp

各委員会

活動

動

報

告

6月定例会委員会審査

総務文教常任委員会には、条例改正案4件、工事請負契約2件、和解及び損害の額を定めることについて1件、請願2件、陳情2件について審査しました。主な審査内容については次のとおりです。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例改正

質疑
勤務時間を短縮した場合の対応は。

回答（総務課）
市民サービスの下下を招かないようにしてきます。

和解及び損害賠償の額を定めることについて

質疑
報告が多いように思われるが、安全運転について職員等に対するの周知徹底や対策は。

回答（総務課）
部長等、課長等会議において、職員および臨時職員に対し事故防止の周知を図っていますが、再度、事故防止の周知徹底に努めていきます。

請願の審査結果

「緑幼稚園2年保育について」は、船引町以外の幼稚園は2年保育を実施していることや、遠距離にある保育所や私立幼稚園に通わせることは難しいので、地元の幼稚園に通わせたいとの保護者の願いもわかるため、採択すべきものと決しました。

「山根小学校の常葉小学校への統合にかかわる、児童送迎バスに、山根方部の中学生の同乗を求める請願」は、山根地域や他の地域の実情についても、今後更なる調査が必要のため、継続して審査することになりました。

陳情の審査結果

「船引南幼稚園2年保育の早期実現に関する陳情書」は、「緑幼稚園2年保育について」と同様の理由により採択するものと決しました。

「美山地区から船引中学校までの送迎用車両運行に関する陳情書」は、瀬川中学校の統合の時に、船引町長外路地区についてもスクールバスを検討するべきであったことから、採択すべきものと決しました。

市民福祉常任委員会

委員長 石井 忠 治

6月定例会委員会審査

市民福祉常任委員会には、条例改正案2件、条例廃止案1件の議案が付託され、原案のとおり可決しました。また、付託された陳情3件について審査を行いました。主な審査内容については次のとおりです。

国民健康保険税条例の一部を改正

質疑
長引く不況のもと引き上げるべきでない。

回答（市民課）
地方税法の改正に伴い、国民健康保険税の算定に係る医療分基礎課税限度額および後期高齢者支援金等課税限度額を改正するものであり、国保税率等については据え置きとなっている。

陳情の審査結果

「生活費に見合う年金引き上げを政府に求める陳情書」は、無年金者にまで緊急の手当支給は、公平性にかけるということで、不採択すべきものと決しました。

「後期高齢者医療制度の即時

所管事務調査

6月17日、本会議散会后、市民福祉常任委員会を開催し、市内の旧ごみ焼却施設ならびに障がい者多機能型事業所「田村」の現地調査を行いました。



旧ごみ焼却施設（都路町）

産業建設常任委員会

委員長 橋本文雄

6月定例会委員会審査

産業建設常任委員会には、財産の取得1件の議案が付託され、原案のとおり可決しました。

財産の取得

質疑

機種ごとの価格は。

回答（都市計画課）

バスケット台、オレンジゴール
1対 10,474千円
セッティングゲージ
1対 225千円
多目的競技表示盤
1組 9,697千円
オルタネイティングポゼション
表示器 1組 63千円
ファール回数表示器
1組 1,062千円
大響フザー 1組 217千円
選手交換表示板
1組 138千円

質疑

選定理由は。

回答（都市計画課）

10月9日合併5周年事業で日本女子バスケットボールリーグ公式戦デンソー対日本航空の試合があります。
そのため、実業団の試合に対応できる機種を選定しました。

国際バスケットボール連盟認定品です。

所管事務調査

6月18日、農道小滝沢線、林道小松山早稲川線、市道3路線、市総合体育館の現地調査を行いました。



農道小滝沢線



市総合体育館

予算常任委員会

委員長 大和田博

6月定例会委員会審査

予算常任委員会には、平成22年度各会計補正予算案7件の議案が付託され原案どおり可決しました。

主な審査の内容は、次のとおりです。

平成22年度 一般会計補正予算

質疑

認可外保育所への補助金はどのような趣旨のものですか。

回答（社会福祉課）

負担金補助についてはAED購入補助金です。本市に4カ所ありますが、希望調査をさせていただきます。

質疑

児童家庭相談員、全体で何名いるのか。

回答（社会福祉課）

市に1人、児童家庭相談員は設置されております。

質疑

県緊急雇用創出基金事業で働いている方々は田村市で何名いるのか。

回答（商工観光課）

本年度につきましては32件の事業で、162名です。

平成22年度 国民健康保険 特別会計補正予算

質疑

基金積立金について、総額いくらになっているのか。

回答（市民課）

国民健康保険の積立金は、平成21年度末で5億4,923万9千円になっています。

平成22年度 滝根町観光事業 特別会計補正予算

質疑

観光振興事業の具体的内容は。

回答（商工観光課）

県内3地区の持ち回りで、読売旅行北関東営業所が企画し、今回はあぶくま洞へ誘客を行うもので、9月18、19日の2日間で2,000人を予定して募集する事業です。地元のドライブイン協会や団体が歓迎のイベントを行い、県内外に対するPRを行う事業です。

「これは、進歩か？
諦念の産物か？」



田村市滝根町
先崎裕子さん

この何年か、増え続けるわが家の金魚を狙ってカワセミがやって来る。小さい池にウヨウヨと稚魚が泳ぎ始めると、朝に夕にと尋ねて来ては食い放題。なんで追い払わないんだと非難を浴びながらも、金魚の赤があの美しい瑠璃色と変わって空を飛ぶのもいいのではないかと、香気（のんき）に眺めてしまう。

今、私は、若い頃思い描いていた『優雅で素敵な暮らし』と言うものとの大きな違いを感じたら、毎年米作り、野菜を育て、自作の器で食事を楽しむ。

物質より、豊かな心の安定を求める、そんな成熟したおしゃれな大人の社会（？）は、たぶん、今より少し不便で土臭く貧乏であるだろう。

これからの時代、勇氣ある大人は、一見地味で切なく、しかし穏やかで静かな暮らしを求め、そしてこの地域は、そんな要求に充分に応え得る。とか考えてみる。

シリーズ

市民の声

「楽しく年をいただい」



田村市常葉町
石井修一さん

突然ですが・・・
「年をとるのがイヤだ・・・」

どこでもよく聞かれる言葉です。私は現在37歳ですが、常に新しい可能性を持つ自分、つまりは1分1秒後、明日、1カ月後、1年後、10年後、更には30年後などが楽しみで仕方ありません。

私の中で勝手に有名人や地域の方々などで目標にする人を決めていきます。途中で諸事情により目標から外れてしまう場合もまれにあります。30代ならこの人の生き方を参考にしてみようとか、40代ならこの人を目標にしてみようとか、50代なら、60代なら・・・と、その人がある意味「美化」して見ることによって「憧れ」が生じ、それに自分も近づきたいと思う気持ちが生じてきます。目標とする人を探すために各種団体にも所属し、たくさんの方々とお会いしています。また、新たな関わりが大なり小なり生まれます。だから年をとるのが楽しみです。皆さんも今日から視点を変えて目標相手を見つけてみませんか？楽しいですよ！

編集後記

6月定例会において市議会広報広聴調査特別委員会の設置が可決されました。市民の皆様は議会を身近に感じて頂ける「議会だより」の発行に努めてまいります。

また、市民の皆様の議会に対するご意見ご要望を広聴するための調査を行い、より開かれた議会を目指してまいりますのでご指導賜りますようお願い申し上げます。

委員長
副委員長
委員

樽井 義忠
菊地 武司
大橋 幹一
白石 恒次
木村 高雄
橋本 紀一

